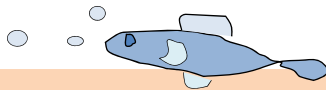


つれづれダムだより



阿木川ダム防災資料館

梅雨の季節になりました。この季節になると、資料館にムカデやゲジゲジやら・・・出現します。先日も机の下にゲジゲジが休んでいたようで、何気に一歩踏み出したところ「くしゃ！」と変な音。ゲジを踏んでしまっていて、思わず「うぎゃー！」。あの、「くしゃっ」と感は忘れられません。(ぺしゃんこの姿が、「えびせんべい」のエビに似てなくもなかったような……。ゲジゲジの逆襲か・・・？その夜から体調がくずれてしまいました。) 水場が近いからか、ムカデも大きく成長したものが出現します。適度な雨は降らないと困りますが、梅雨特有の湿気の季節は早く終わって欲しいものです。



前号の vol.14 号で「資料館水槽に仲間が増えました」と紹介しました。新しい仲間は、「ヨシノボリ」と紹介しましたが、よくよく見たところ、どうも違う様なのです。ヨシノボリではなく、「ニゴイ」の稚魚ではないか・・・？という可能性がでてきました。まだ、5cm程の大きさなので定かではありませんが、今後も成長を見守りたいと思います。(魚の種類は何なのか？見極めたいと思います。)

※ ちなみに、新しく仲間入りした”エビ”ですが・・・6月1日頃から姿が見当たりません。どうも食いしん坊の”誰か”→(”オイカワ”なのか・・・?)が、食べてしまったらしいのです。

————— 今後の展開に、乞うご期待下さいませ。

点検の際に、洪水調節予備ゲート付近で採取した魚です。

「来館者の方から『カワゴイ』かな?』との指摘がありましたが・・・はてさて?



～ツバメの巣作り～



資料館裏手にある階段の壁面にツバメが巣作りをしていました。ちゃんと巣立つかな・・・？と、しばらく様子を見ていましたが、巢の土が上手く定着しないようで巣作りをやめてしまいました。

これまで、資料館付近でセキレイが2回ほど巣作りをして卵を孵していましたがどちらも孵ることが出来ず、今度こそは・・・と期待していましたが残念です。

そのセキレイも、「えらい所」に巣をつくっていました。

1度目は、トイレ裏手に箒などを立てかけていたところ → “へび”に食べられ、
2度目は、なんと、売店「ふれんどりー」さんの木箱ポストの中に作ってしまいました。



下から手紙を取り出すタイプだったため——ある日のこと、卵ごと「ストン」、と下へ……。



3度目こそ、“あぎ一”の仲間が成長して巣立っていけるかな?と、期待していたので残念だな～。来年のシーズンに期待したいと思います。